

info mart

2011 WINTER



●MUSE INTERVIEW | p2-3
WEEKEND PIANO SERIESに登場の
仲道郁代さん、河村尚子さん
インタビュー



●MUSE INTERVIEW | p4-5
松永貴志[ジャズ・ピアノ] +
HIDEBOH[タップ・ダンス]
待望のコラボ、ミューズに初登場!



●CLOSE UP MUSE | p12
MUSE Christmas Presents
アンフォゲッタブル・コンサートVol.9
国府弘子さんからのメッセージを紹介



休日の午後に国内外の実力派ピアニストの演奏をお聴きいただく「WEEKEND PIANO SERIES」。
今回は仲道郁代さんと河村尚子さんに
お話を伺いました。

WEEKEND PIANO SERIES

～休日の午後に 燦めくピアノの響き～

ピアノの音とともに心の旅をして、いろいろなことに思いを馳せてください

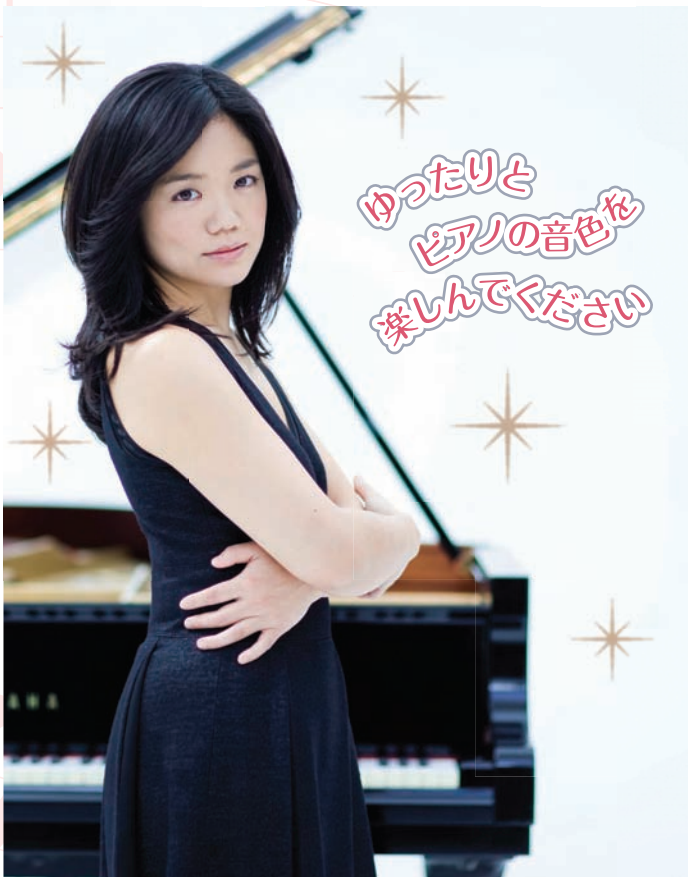
♪4人の作曲家を通して
楽器の歴史を辿る

今回の演奏会では、モーツァルト、ショパン、ベートーヴェン、リストという、4人の作曲家を取り上げ、ピアノという楽器の歴史を辿っていききたいと考えています。前半をモーツァルトとショパンにしたのは、ショパンがモーツァルトに憧れていたという点を意識したのと、2人に共通する姿勢として、楽器の魅力を最大限に引き出していると感じたからです。モーツァルトの時は、ピアノフォルテだけではなくてチェンバロなど、いろいろな楽器を使っていたので、「ピアノ曲」と言ってしまうと良いのかは別ですが…。後半はベートーヴェンとリストです。リストは子供の頃にベートーヴェンに弟子入りしたくて、門を叩いていま

ピアノは幅広い
表現力をもった
語れる楽器だと
思います



ゆったりと
ピアノの音色を
楽しんでください



「音楽はこんなに楽しい」と思っていただけのような
コンサートにしたいですね

♪ショパンとプロコフィエフ
私自身も楽しみな組み合わせ

今回のプログラムには、ショパンのピアノ・ソナタ第3番、プロコフィエフのピアノ・ソナタ第6番「戦争ソナタ」、「ロメオとジュリエット」という大曲を選曲しました。ショパンのソナタ第3番は、ずっと私自身の中で温めてきた曲です。ここ数年は演奏会で弾いていきましたが、今回ぜひ皆様に聴いていただきたいと思います。そして、プロコフィエフの「戦争ソナタ」は、この4月に亡くなった恩師のウラディーミル・クラインフ先生が得意とされていたものです。先生のもので学び、ミューンヘン国際コンクールの一次予選で第1楽章を弾いたこともあり思い出深い曲です。コンクールから5年半を経た来年の2

す。楽器の扱いも共通していて、2人はいつもピアノという楽器の限界を超えようとしていました。ピアノ芸術は、リストとショパンによって花開いたわけですが、その道のりを、使うテクニックも全く違い、楽器の好みも全く違う4人によって辿っていききたいと思っています。今、あえてこの4人を並べて弾く、そこが面白いんですよね。皆さんが親しんでいる作曲家が、一人ひとりこんなにも違うのだということを感じて楽しんでいただけたら嬉しいですね。

♪ベートーヴェンは哲学。
心の中で対話する気持ちで…

ベートーヴェンは、ピアノ・ソナタを32曲作曲していますが、常に「ピアノ・ソナタの中

に何を打ち込むことができるのか」ということを考え、いろいろな試みをしてきたのだと思います。今回演奏する「テンペスト」を含む作品31の3曲には「演劇性」が取り入れられています。シェークスピアの「テンペスト」とは無関係という説もありますが、今回はシェークスピアの「テンペスト」に照らし合わせてこの曲をひも解くように弾いてみたいと思っています。

ベートーヴェンの音楽は普遍的な真実を追い求める哲学だと思うのです。私がベートーヴェンの曲を弾いて音を立ち上げることによって、聴いてくださる皆さんが心の中で「大切なもの、真実、生きるってどういうこと、音楽を享受するってどういうこと」なのかを、会話していただけたら嬉しいです。

♪ピアノを通して何かを伝えたい

演奏活動始めて25年になりましたが、その間、いろいろなことに挑戦させていただきました。試行錯誤、紆余曲折…当たって砕けたこともありましたが、どれも私にとっても大切な経験となっています。作曲家や作品に対しても「この作品をどう弾いたらいいのだろう?」という思いから、「私だったらこういう風に弾きたい」という思いに、25年かけて辿りつきつつあると思っています。たくさんさんの引き出しもできました。それらを組み合わせて、ピアノによって何を伝えることができるかを、これからいろいろな方法で試して行きたいと思っています。ピアニストは一生、試行錯誤なんです。ピアノが語ることができることは本当に幅広いと思っています。ピアノの音とともに心の旅をして、いろいろなことに思いを馳せていただけたら嬉しいです。

んです。このショパンの幸せのオーラを私の演奏から少しでも感じていただけたら嬉しいですね。

♪プロコフィエフ独特の
ハーモニーを楽しんで

昔からプロコフィエフのバレエ音楽に魅了されていて、今回、演奏会で初めて「ロメオとジュリエット」を取り上げることができました。彼のバレエ音楽は軽快で、ユーモアがあり、愛らしく楽しげなダンスなどもあり、とても変化に富んでいます。この曲はCMやフィギュアスケートでもよく使われているので、皆様にとっても馴染みのあるものではないでしょうか。リズムカルな部分も多く、音楽の表情が突然パタッと変わるの、その変化を表すのは難しいですね。プロコフィエフのハーモニーはとても独特なので、それも楽しんでいただけたらと思っています。彼のピアノ・ソナタ第6番は、7番、8番とともに『戦争ソナタ』と呼ばれ、戦争の残酷さや悲惨さを表現したと感じられる場面や、戦車や鉄砲の音をイメージしている部分もあります。「ロメオとジュリエット」と同時期に作曲された曲なので、第2楽章にはコミカルなダンスも登場します。第3楽章は愛に満ちた抒情的な楽章で、失われた愛や戦争に行った方への思いなどが描かれています。プロコフィエフというと「冷たい」イメージが強いのですが、第3楽章のように愛に満ちたものを生みだせるというのは、実はとても熱い人だったのではないかと思います。『戦争ソナタ』は少し聴きなれないところもあるかもしれませんが、20世紀を代表する大作で、ショパンとは違った意味で心を奪われるショッキングな曲だと思います。あまり難しく考えすぎずに面白さ・奇妙さを愉しみながら耳を傾けていただけたらと思っています。



河村尚子 Hisako Kawamura Piano

現在、世界的に最も注目すべきピアニストの一人。ハノーファー国立音楽芸術大学在学中、数々のコンクールで優勝・入賞を重ね、06年には難関ミュンヘン国際コンクール第2位受賞。翌年、クララ・ハスキル国際コンクールで優勝し、躍楽壇の注目を集める。ドイツを拠点に、オーストリア、スイス、イタリア、フランスなどで演奏。バイエルン放送響、チューリヒ・トーンハレ管や国内主要オーケストラなどと充実した演奏活動を展開している。2011年6月サント・ベテルブルク・フィルと現地サント・ベテルブルクで共演、また11月にはヤノフスキ指揮ベルリン放送交響楽団との日本ツアーなどを行った。CDは、2009年春、名門RCA Red Sealレーベルより『夜想(ノットウルノ)〜ショパンの世界』でメジャー・デビュー。2011年9月に発売された待望の新譜「ショパン:ピアノ・ソナタ第3番 シューマン:フモレスケ&献呈」は、いま最も旬な演奏として注目を浴びている。2009年新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本ショパン協会賞、2010年井植文化賞を受賞。

■公式HP <http://www.hisakokawamura.com/>

WEEKEND PIANO SERIES

～休日の午後に燦めくピアノの響き～

2012.2/26(日)
開場14時30分 開演15時 アークホール
河村尚子

曲目／
ショパン:舟歌
:ピアノ・ソナタ第3番
プロコフィエフ:バレエ「ロメオとジュリエット」より抜粋
:ピアノ・ソナタ第6番「戦争ソナタ」

※公演に関する詳細は、インフォ・マート通信(P15)をご覧ください。

2011.12/23(金・祝)
開場14時30分 開演15時 アークホール
仲道郁代

曲目／
モーツァルト:ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲」
ショパン:12の練習曲より「革命」「別れの曲」
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」
リスト:メフィスト・ワルツ第1番「村の居酒屋での踊り」ほか

チケット
好評
発売中!

仲道郁代 Ikuyo Nakamichi Piano

優れた音楽性と絶大な人気を兼ね備えた日本を代表するピアニスト。桐朋学園大学1年在学中、日本音楽コンクール第1位を獲得。以来、日本と欧米で活発な演奏活動を行っている。マゼール、ズッカーマン、サンティなどの名指揮者と共演し、近年ではバーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルとベートーヴェンの協奏曲を全曲演奏し絶賛を浴びた。子ども向け企画にも熱心に取り組み、豊かな人間性が多いファンを魅了している。レコーディングはSony Music Japan Internationalと専属契約を結び、クラシック音楽としてはこれまでにないヒットを記録したアルバムをリリース。「ピアノ・ソナタ第30.31.32番」は、2007年度第45回レコード・アカデミー賞(器楽曲部門)を受賞。2011/2012シーズンはデビュー25周年のメモリアルイヤーを迎え、ますます充実した活動が予定されている。

■公式HP <http://www.ikuyo-nakamichi.com/>



ミューズ
独占
インタビュー

松永貴志^[ジャズ・ピアノ] + HIDEBOH^[タップ・ダンス] …二人の絶妙なコラボレーション!!

二人の天才がぶつかり合い、最高のパフォーマンスが火花を散らす!!

2012年1月22日、キューブホールで今、最も熱いグルーブを体感できるステージが幕を開けます。



■ **ジャズの自由な世界観が
僕の原点です!!**

ピアノを弾きはじめてのは11歳の頃からで、家にあったアップライトを遊びで弾きはじめてのが最初です。CDを聴き、聴いた曲を弾いたりしているうちに、ジャズという音楽の自由度の高さを知りました。それで、自然とジャズ・ピアノに関心が向いていったのだと思います。また、初めて連れて行ってもらったライブハウスで聴いたのがジャズで、演奏している人たちから、さらにジャズの自由度が高いことを直接教えてもらいました。

中学生の時からいろいろな場所で演奏をさせてもらうようになって、他の人のライブに飛び入りで演奏させてもらったりして、少しずつ名前も知ってもらい、支持してくれる方も増えていったんです。お客さんの前で演奏する醍醐味、楽しさを感じたのはその頃ですね。

高校1年になったのを記念して「プロデビュー・リサイタル」を開き、それをきっかけにプロになりました。つまり、自分はプロなんだということを世間に宣言したんです(笑)。

■ **HIDEBOHさんとの出会いは
衝撃的でした!!**

僕は座頭市の映画で、スクリーンを通してHIDEBOHさんを観ました。衝撃的でしたね。そして、1年後くらいに実際に会ったんです。とにかくHIDEBOHさんはすごい(笑)！何でもできちゃうんですね。タップはもちろんです。僕の方が「これ、聴いたらいいんじゃない?」と、教えてもらっているんですよ(笑)。

今回のコラボは、僕の強い希望でセッションが実現しました。細かいリズムも完璧で、あそこまで完成度の高い人はいないんじゃないです

ピアノがそこにあつたから遊びはじめた…

自由な音楽がやりたかったから、楽譜なんかを見ずに

自分の好きなように弾いていた。

僕のピアノは、完全に独学です!!

か！表情を見ると、平気な顔をして簡単にできちゃうよっていう感じでやっていますから、ホント、すごいなって思いますね。あれだけやろうと思ったら、相当に練習していると思います。そして技術だけでなく、HIDEBOHさんがタップを踏みはじめると、ぱっと周りが華やかになる。それが、すごいところですね。



■ **今回のステージは
「ワクワク感」がテーマなんです!!**

技術ということでは、僕だって負けていませんよ(笑)。いわゆる基礎練習みたいなものは、高校2年、3年の時に一番していたかもしれないですね。1日8時間以上、練習していましたね。その時に徹底して弾き込んで、基礎をつくらせておいたつもりです。今の僕にとっては、技術も大切ですが発想力を広げていくことが大事かもしれないですが、要するに、ピアノの前

松永貴志 ピアニスト

国際舞台で活躍する若手ジャズピアニスト。13歳の時にジャズピアノの巨匠ハンク・ジョーンズが「ずば抜けた演奏」と絶賛。15歳で「松永貴志プロデビュー・リサイタル」を実施。17歳の時にリリースしたアルバム「TAKASHI」(EMI)でメジャーデビュー。ベストセラーとなる。以降、ハービー・ハンコック、チャカ・カーンなどの一流ジャズミュージシャンをはじめ、クラシックのトップオーケストラなどとも共演。その活動は常に注目を集めている。

に座った瞬間に、あの時のあの感情をどうやってピアノの言葉に変換して伝えるか、ということイメージするんです。考えてイメージする時もあるし、パッと変換できることもあるし、いろいろ。だからお客さんの反応によって演奏は変化しますね。曲だって変わります。

コラボということになると、それがさらに複雑に多彩に変化していくので、何が起るかわからくありませんね。楽しいでしょうね(笑)。でも、コラボは戦いじゃなくて、相手のいいところを見つけて反応していくというものです。HIDEBOHさんが思いっきりソロをしている時に、僕が後ろで目立つことをやっていたら、ぶちこわしになりますからね(笑)。

今回はすごく舞台に近いと思いますから、いつも以上に遊び心をもってやってみたいですね。当日はハブニングがあるかもしれませんが(笑)。グランドピアノとタップ、お互いのいいところを出し合えばいいですね。きっと面白い感じになると思います。僕・松永とHIDEBOHさんのコラボは5年振りくらいで、本当に久しぶりです。テーマは「ワクワク感」なので、二人がお互いにワクワクあって、みんながワクワクして、お客さんも一緒に楽しんでいただけるような公演になったら嬉しいですね。



チケット
好評
発売中!

2012.1.22(日)
キューブホール
開場14時30分 開演15時
松永貴志+HIDEBOH
[ジャズ・ピアノ] [タップ・ダンス]
出演/松永貴志(ジャズ・ピアノ)
HIDEBOH(タップ・ダンス)
※公演に関する詳細は、
インフォ・マート通信(P14)をご覧ください。

■ **もの心ついた頃には、
ステップを踏んでいた……**

僕は、両親がタップダンサーだったので、6歳の頃からずっとステージに立っているんです。つまり、もの心ついた頃にはステップを踏んでいたというわけです(笑)。ドリフターズさんなど多くの芸能人の方々と一緒に地方巡業や米軍キャンプを回っていた家族だったんです。でも、タップを敬遠していた時期もありました。

小学校に進学すると友達と野球やサッカーなんかやりたかったですからね。それで「タップは辞めます」と両親に宣言したら、「辞めるんちゃって…。そう言われると逆にやる気になりました(笑)。

中学生の頃に自分の得意なもの、できるもの、体にあったものってなんだろうと考えたら、「やっぱりタップなんだ!」と、再確認したんです。タップダンスはオーソドックスな世界、古き良き時代のものというイメージが強いのですが、自分の個性を表現して、自分のタップを創っていかねばならないと思っていました。そしてもうひとつ、僕には「歌」という大切な世界がありました。少年の頃、DJが流行りだして、アナログのレコードを繋いだりして、自分でマイクを立てて歌ったりしていました。小さい頃から歌うことで人を楽しませることが好きだったんですね。

また当時、夢中になっていたのがミュージカルです。「雨に歌えば」というタップダンスの映画は、今も有名ですね…フレッド・アステアやジーン・ケリー。そして自分の世界観を創

タップを極め、タップを超えたい。

タップの神様グレゴリー・ハインズ、

映画監督・世界の北野との出会いが、

アーティストHIDEBOHを大きく成長させた!!

り上げたチャップリンが好きで、どうやら自分の世界観を創り上げられるのかということを考えていました。

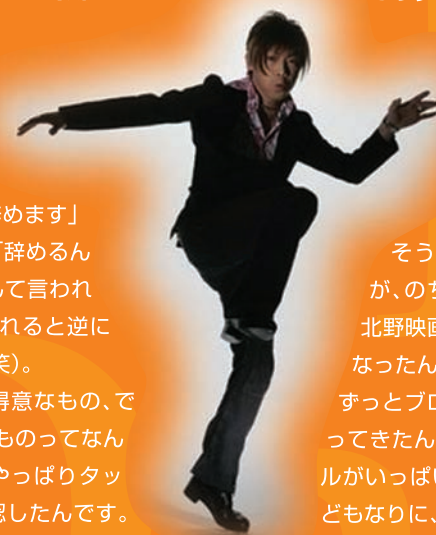
■ **僕にはタップしかない
と
思っていたな!!**

小学校の高学年から、タップダンスでプロになると思っていました。それで、タップをもう少し広い観点で創造していこうと考えたんです。タップの魅力

を表現できるパフォーマンス性を高めたタップ、エンターテインメントなタップってなんだろうということを考えはじめた。

そういう考えでやっていった結果が、のちに北野武さんに認められて、北野映画に参加させていただくことになったんだと思います。

ずっとブロードウェイの音楽を聴いて育ってきたんですが、音楽といってもジャンルがいっぱいある。ジャズ、ポサノバ…。子どもなりに、そんなことを考えていました。僕の周りでタップのレッスンをしているのは大人ばかりで、中にはかなり上手な人もいましたから、自分の実力と比べて、ヘコむこともありました。でも、あんまり迷わないでやっていま



したね。そして、どうやら世界のタップの中心地はニューヨークで、世界中からいろんな人が集まって来ているということを知ったんです。その頃、タップの頂点にいたのは、「コットンクラブ」や「TAP」に出ていたグレゴリー・ハインズです。グレゴリー・ハインズのショーを何回も観に行き、とにかく夢中でした。ハインズの師匠のヘンリー・ルタンがまだ健在で、僕はニューヨークに行くことになり、弟子入りしました。ニューヨークではいろんなオーディションを受けて、こてんぱんにやられました(笑)。そんな環境で、僕は自分を磨いていったんです。

■ **松永君とのコラボが
ホントに楽しみ!!**

僕は松永君がピアノを弾いているという印象はないんです。まさに鍵盤が踊っているというイメージですね。それで僕のタップは歌う感じで、化学反応を起こしたいと考えています。だから当日は何が起るかわからないですよ。今回の公演も一期一会、二度とできないようなものになると思っています。ジャズとタップの世界、僕らも何が起るかわからないので、皆さんに面白がって、楽しんでもらえるようになれば嬉しいですよ。

HIDEBOH

タップダンサー・コレオグラファー・インストラクター

日本のタップダンス界の第一人者。リズムタップを基調とし、自身の音楽的センスを盛り込んだ上にパフォーマンス性を高めたオリジナルスタイル「Funk-a-Step」を考案。その普及と定着に力注いでいる。ダンサー・アクター・シンガー・コレオグラファーとして多方面に活動する中、インストラクターとしてもタップダンス界の底辺の拡大にも尽力している。また北野武監督作品「座頭市(2003年)」、「TAKESHIS'(2005年)」において出演、振付、指導。その実力は国際的な評価を得ている。



指揮者 秋山和慶と出会った頃

金山茂人

Shigeto Kanayama

ミューズアドバイザー／公益財団法人東京交響楽団 最高顧問

今 更秋山との出会いを文章にするのもおこがましいとも思ったが、実はこの11月12日に世界的大指揮者であるロリン・マゼール氏が東京交響楽団（以後東響）を48年ぶり2度目の指揮をすることになっている。《10月30日時点》マゼールというと秋山と私（というより秋山と東響）との忘れられない最初の出会いを思い出したので触れることにした。

1 963年（昭和38年）11月における東響の定期演奏会は完成2年後だった東京文化会館で行われた。当日会場は1階から5階まで超満員のお客様で溢れ、定員2300人の客席が恐らく立ち見を入れると2700人くらい埋まっていたのではなかろうか。現在では厳しい消防法があり、今時そんなことをやったなら少なくとも責任者は当局から呼び出され重大な処罰を受けていたであろう。マゼールが11歳の頃、世紀の大指揮者トスカニーニに才能を見出され、その後の活躍によって世界中のファンから熱い期待を集めていた。その指揮者が初来日に東響を振るというので、半端な騒ぎではなかった。そもそもマゼールが指揮するきっかけは、同年日生劇場がオープンした折、その記念事業の一環としてベルリン・ドイツ・オペラを招聘する際、その指揮者がマゼールということを知った当時の東響首脳陣は如何なる手練手管を使ったのか、オペラ公演の合い間に東響の定期に出演することを同意させた。ちなみに

この時のオペラ公演で入場料1万円という席が売り出され、初めてクラシック系の公演で万の単位が出たということでも話題になった。

何 しろこれくらいの大指揮者が振るのだから、事前練習をしておこうということになり、せっかく若くて世界的指揮者とやるのだから、譜読みとはいえ、こちら側も優秀な若手指揮者でやろうと考えた。結果当時桐朋学園の大御所で名伯楽として著名な斎藤秀雄氏の門下生として小澤征爾氏と共に注目されていた弱冠22歳秋山和慶の初登場となった。そういう私も秋山とは較べるべくもないが、その数ヵ月前東響に入団すべくヴァイオリン奏者としてオーディションを受け、何とか研究員として第1ヴァイオリンのケツペタ（一番後の席）で弾くことをゆるされたばかりのホヤホヤ団員であった。しかも入団間もない私にとって憧れの世界的大指揮者と仕事をさせてもらえるだけではなく、意外に高給だった。夢のようなオーケストラに入れて有頂天になった。両親、友達にも自慢で鼻高々だった。だが好事魔多し！それから数ヵ月後、突如財政的破綻が勃発し、責任をとって創立以来の楽団長が入水し、財団も解散してしまった。という悲劇が起きるなんて、入りたての若僧には知る由もなかった。

譜 読みの日、斎藤秀雄氏に連れられてやってきた秋山は紹介もそこそこ颯爽と指揮台に上がった。最初に見た彼のイメージは現在では想像もつかない、ちりちり頭（無論当時は真っ黒）の痩せた小柄な感じで中学生くらいにしか見えぬ、童顔の坊や風（失礼!）だった。が、指揮台に立つやいなや顔つきが変わった。曲はチャイコフスキーの第4番のシンフォニーだ。妥協なく徹底的にしごかれた。当時威張り腐っていた元海軍、陸軍の軍楽隊上がりの猛者どもを黙らせた。しかしやり方があまりに鮮やかだったためか、日頃ウルサ型団員の何処からもクレームがなかった。それどころか練習後楽屋は賞賛に満ち溢れ、この時の出会いが後の秋山と東響の結びつきを強固なものにした。

だ が肝心のマゼールとの最初の出会いは東響の緊張のし過ぎか、実力不足からか、必ずしも成功とはいえなかった。あれから半世紀近い歳月が流れた。幸い生まれ変わった東響に2度目のチャンスが訪れた。雪辱を果たすコンサートになることを期待したい。

秋 山はご存知のように今や日本を代表する指揮者の1人に成長した。そればかりか悲運の東響を盛り立てた実績は見事だ。同時に彼自身世界を股にかけて活躍しているのを見るにつけ、約同年輩の私としても嬉しく思っている昨今だ。

Cruising info mart

ミューズへ、そして読者の皆さんへ。

2 “お昼どき” パイプオルガン 500円コンサート

たなばたに贈る天の川の響き

2011年7月7日(木)

アークホール

①開場10時30分 開演11時

②開場14時 開演14時30分

出演/オルガン:高橋博子

トランペット:佐藤友紀

●初めてホールに来て、大きなパイプオルガンに圧倒されました。子供と一緒に生演奏を聴けるなんて感激です。(所沢市・主婦)

●パイプオルガンとトランペットがとても良いハーモニーを奏でていました。(所沢市・男性)



1 所沢市生涯学習推進事業 劇団かし座「長靴をはいたねこ」

2011年7月2日(土)並木公民館 開場13時20分 開演14時

●影絵の素晴らしさに驚き、とても楽しめました。(所沢市・主婦)

●歌もあり、親子共に楽しめました。(所沢市・主婦)



3 第71回所沢寄席 「花形よったり競演会 ～旬な落語家大集合～」

2011年7月15日(金)

マーキーホール

開場18時30分 開演19時

出演/立川志らく、古今亭菊之丞

柳家三三、三遊亭兼好 ほか

●外の猛暑を吹き飛ばす歯切れの良い噺に、大いに笑い、堪能した。(狭山市・男性)

●4人ともそれぞれの味があり、期待通りとても良かった。(入間市・無職)

5 劇団四季ミュージカル 雪ん子

2011年7月20日(水)

マーキーホール

開場18時 開演18時30分

●ゆきちゃんがかわいかったです。踊りにもキレがあったのですごくと思いました。(立川市・小学生)

●心温まるやさしい話でした。歌も踊りも素晴らしかったです。(ときがわ町・パート)



4 Bonjour! メルカールとめぐるパッハとバリ

2011年7月16日(土)アークホール

開場14時30分 開演15時

出演/オルガン:

ジャン=フィリップ・メルカールト

曲目/J.S.パッハ:トッカータとフーガ

:主よ人の望みの喜びよ

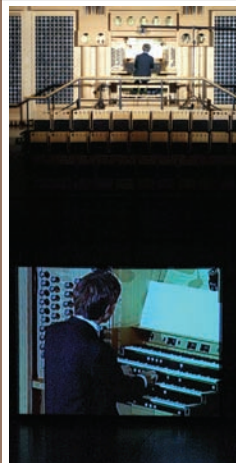
ドビュッシー:「牧神の午後」への

前奏曲

フランク:コラール第3番 ほか

●100年前のフランス・パリにタイムスリップしたような感じがしました。(所沢市・小学生)

●パイプオルガンのコンサートは初めてでしたが、とても色彩豊かなので驚きました。(川越市・主婦)



6 夏休み!ミューズ “とことこ”探検ツアー

2011年7月25日(月)アークホール

①9時30分～②12時15分～③15時～

出演/オルガン:松居直美

:ジャン=フィリップ・メルカールト

●パイプオルガンにさわたり弾いたり、いろいろできてすごく楽しかったです。(所沢市・小学生)

●いつもは見られない、入れないところに行けてとても良かったです。(所沢市・小学生)



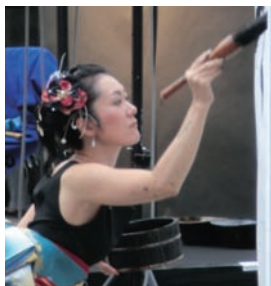
15 青山テルマ
With Super Dance Special Live 2011
2011年9月30日(金)マーキーホール
開場18時 開演18時30分
●テルマちゃんの笑顔、歌声が最高だった!(所沢市・会社員)
●みんなの心が一つになったような感じがしてとても楽しかった。(国分寺市・小学生)



18 第72回所沢寄席
「柳家小三治 独演会」
2011年10月14日(金)マーキーホール
開場18時30分 開演19時
出演/柳家小三治 ほか
●昔から小三治師匠のファンでした。年齢を重ねると共に益々味が出てきて大変良かった。(所沢市・男性)
●どんどん話に吸い込まれました。話術のすごさを堪能しました。(所沢市・男性)



21 所沢市民フェスティバル
ミューズ東北応援プロジェクト!
あつまれ!ひと・もの・ちから
2011年10月29日(土)・30日(日)
情報市場
出演/矢部澄翔(女流書家)
あべや(津軽三味線ユニット)



14 WEEKEND PIANO SERIES
～休日の午後にほめくピアノの響き～
ブルーノ・レオナルド・ゲルバー
2011年9月25日(日)アークホール
開場14時30分 開演15時
曲目/ベートーヴェン4大ソナタ
ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」
ピアノ・ソナタ第14番「月光」
ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」
ピアノ・ソナタ第23番「熱情」
●圧倒的に素晴らしい演奏でした!!何年たっても忘れないと思います。(所沢市・会社員)
●感動です、涙が出ました。ベートーヴェンに対する認識がまたひとつ変わりました。(東村山市・パート)

16 が〜まるちよば
サイレントコメディー
JAPAN TOUR 2011
2011年10月2日(日)
マーキーホール
開場17時30分 開演18時
出演/が〜まるちよば
(ケッチ!/HIRO-PON)
●言葉を使わずにこんなに人を笑顔にできるお2人はすごいです!すごく感動しました。(20代・女性)
●家族で見に来ました。みんなで笑えるなんて幸せです。(40代・女性)



17 千住真理子
ヴァイオリン・リサイタル
2011年10月9日(日)アークホール
開場14時30分 開演15時
出演/ピアノ:山岡智
曲目/サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン
アメイジング・グレイス
ドビュシー:月の光 ほか
●自然と涙が流れていました。とても感動しました。(所沢市・会社員)
●千住さんの美しいヴァイオリンの響きがホールに溶け込んでとても素晴らしかった。曲の解説もやさしく、分かりやすかった。(飯能市・会社員)

19 塩谷哲withソルト・ストリングス
コンサート2011
2011年10月22日(土)マーキーホール
開場17時30分 開演18時
出演/塩谷哲(ピアノ)、井上陽介(ベース)
＜ストリングス・カルテット＞
藤堂昌彦、徳永友美(Vn)
岡さおり(Va)、結城貴弘(Vc)
●穏やかな中に感じる情熱が素晴らしい!(所沢市・女性)
●演奏はもちろん、MCも最高で、こんなに気さくな人柄の方だとは思いませんでした。(狭山市・主婦)



20 休日の午後に贈る
大人のための500円コンサート
～爽やかな秋に聴くショパンの抒情～
齊藤香織ピアノリサイタル
2011年10月23日(日)アークホール
開場12時30分 開演13時
曲目/【オール・ショパン・プログラム】
バラード第1番op.23
幻想即興曲op.66
別れの曲op.10-3
革命op.10-12
英雄ポロネーズop.53 ほか
●ピアノは体と心で弾くものとしみじみ体感しました。魂がゆさぶられました。(狭山市・主婦)
●音色がキレイでどの曲も好きになりました。素敵な時間をありがとうございました。(所沢市・学生)

8 ミュージカル
「葉っぱのフレディ
-いのちの旅-」
2011年8月27日(土)
マーキーホール
①開場11時 開演11時30分
②開場15時 開演15時30分
出演/宝田明 ほか
●ダンスも歌も素晴らしかったです。「いのち」の勉強になりました。(横浜市・小学生)
●命の大切さを、素敵なミュージカルで楽しく見られました!(所沢市・主婦)



9 Chageの細道2011
2011年9月9日(金)
マーキーホール
開場18時 開演18時30分
出演/Chage
●音が良く、Chageさんの歌を楽しめました。(練馬区・主婦)
●子供の頃からずっと大好きなChageさんが私の育って暮らす所沢に来てくれて嬉しかったです。(所沢市・主婦)

11 ウィーンの森
Bühneバーデン市劇場
ビゼー「カルメン」
(全4幕/字幕付)
2011年9月11日(日)
アークホール
開場16時30分 開演17時
出演/指揮:
クリスティアン・ボーラック ほか
●とにかく迫力があつた。アークホール中に声が響き、心にも響き、素晴らしい公演でした。(所沢市・主婦)
●一流のオペラが地元所沢で見られて幸せです!(所沢市・主婦)



13 第7回
ところざわ
夢あかり音楽会
2011年9月17日(土)
情報市場・キューブホール
出演/
ロードフレンズ、ドン・アルマス
サニーサイドゴスベルクラブ埼玉
●楽しい音楽で、美しい音で、心が満たされました。(川越市・主婦)
●3組から、強いパワーをもらいました!参加して本当に良かった。(所沢市・女性)



7 伝統芸能普及事業 能楽講座
「触れてみよう!能楽の世界」
2011年8月21日(日)キューブホール
開場12時30分 開演13時
出演/遠藤喜久 ほか能楽囃子方
●解説が分かりやすく装束の着付けも詳しくて面白かった。「葵上」も見ごたえ十分だった。(文京区・会社員)
●生徒の方々の発表があったので、より身近に感じた。やってみたくなりました。(西東京市・女性)



10 熱帯JAZZ楽団
～The Best Of The Best Live～
2011年9月10日(土)マーキーホール 開場17時30分 開演18時
●本物のジャズを堪能させてもらいました。とても贅沢なひと時でした。(所沢市・女性)
●エネルギーがとてとても楽しかったです。暑い夏を吹き飛ばせましたよ!!(新座市・女性)



12 ザルツブルク・
モーツァルトテウム管弦楽団
指揮:アイヴォー・ボルトン
2011年9月17日(土)アークホール
開場14時30分 開演15時
曲目/モーツァルト(後期3大シンフォニー)
交響曲 第39番 変ホ長調
交響曲 第40番 ト短調
交響曲 第41番 ハ長調「ジュビター」
●モーツァルトが語りかけてくるような、真のモーツァルト演奏を身近に聴けて良かったです。(東村山市・会社員)
●指揮者も団員も楽しそうに演奏しているのが印象的でした。(所沢市・男性)



今年度ミュズは、新しいホールオルガニストを迎えた。初代オルガニスト、川越聡子さんが4年の任期を終えての交代である。本来、この事を前号で書きたかったのだが、震災という思いもよらぬ事態を受けて内容を変更してしまったため、彼がもうすっかりミュズの風景になじんだいまごろになって書いている次第である。

「彼」の名前は、ジャン＝フィリップ・メルカルトという。出身はベルギー・ブリュッセル。ブリュッセル、パリ、ハンブルクで研鑽を積み、2003年には1年間、札幌キタラ・コンサートホールのホールオルガニストを務めた。日本に2010年から滞在、昨年秋のオーディションを経て、今年4月からミュズのホールオルガニストとしてフル稼働している。背の高い、金髪の青年なのでミュズでお見かけになった方の中にはおや、と思われた方もおられるかもしれない。西洋人にはめずらしく？静かで控えめな印象を与える人である。ミュズのホールオルガニストは、財団が運営するオルガンスクールの講師を兼ねる。このスクールはミュズのオルガン事業の大きな柱に位置付けられているので、当初、彼の日本語力を懸念する向きがあったのも事実であった。しかし、レッスンの共通語はなんといっても音楽である。音楽は世界でもっともインターナショナルな

言語と言うべきものだから、いわゆる語学はあまり難点とならないだろうと考えていたが、そのとおりであった。人柄も相まって生徒さんの評判はすこぶる良い。加えて、彼はオーディションから本採用までの間に日本語学校に通い、日本語力を上げる努力をしていた。7月に行われたデビューコンサートでのトークを聞かれた方もおられるだろう、見事に日本語でコンサートのトークをやったのには驚いた。演奏とトークはただでさえ大変なのに、外国語で話さなければならないとは、かなりの負担であったろうと想像している。ちなみに今、会議はもちろん全部日本語で行われている。

もの静かな物腰のメルカルト氏だが、明晰な頭脳の持ち主で、オルガンの現状の冷静な把握と、将来への鋭い視点を合わせ持っている。欧州のオルガンを取り巻く環境も変わりつつある。人々の教会離れは確実に進み続け、教会としての機能を失い、博物館、図書館、貸しホールなどに姿を変えて生き延びている教会も

ある。閉鎖され、中の家具類やオルガンがオークションにかけられるケースもある。教会のシンボルであったオルガンの将来は流動的になりつつある。ミサや礼拝に付き物だったオルガンという楽器が、歴史的な楽器はともかく、その立場を失いつつあるといっても過言ではあるまい。それはある意味では、音楽楽器としての認識を獲得するための努力が欧州でも求められるようになった、ということである。子供のためのコンサートやオルガン見学、映像の活用など、日本でおなじみのイベントが行われるようになった。ウィーンの楽友協会ホール(ウィーン・フィルの本拠地。ニューイヤーコンサートで日本でも有名である)で、子供向けオルガンコンサートが行われ、世界的に有名なオルガニストが弾いたり歌ったりしている、というのは嬉しいことでもあり親しみも持てるが、複雑な気持ちがないでもない。

そういう状況を見据えて、ヨーロッパ人の若いオルガニストである彼がどのように未来を考えているか、は大いに参考にもなり、またミュズとしては心強い味方を得た気持ちである。ミュズを皮切りに日本でのコンサートも増え、いろいろな所で彼の演奏を聴く機会も増えたようだ。東洋で奮闘しているベルギー人オルガニストを、ぜひ応援してください！



あいうえ おるがん ⑤6

「ベルギーからホールオルガニストがやってきた」

松居直美

Naomi Matsui

オルガニスト／ミュズ音楽アドバイザー

ミューズオルガンスクール 生徒募集!!

【期 間】平成24年5月～平成25年3月(8月は休講)

【申込方法】「ミューズオルガンスクール初級クラスor上級クラス参加申込書」に必要事項を記入し、管理棟3階事務室宛てに、郵送、FAXまたは持参してください。(休館日は受付しておりませんのでご注意ください。)

★申込書は、ミューズにて配布していますが、ホームページからも取得できます。

<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

所沢ミューズ

検索

★詳細については、募集要項をご確認ください。

初級クラス

【対 象】中学生以上で、ピアノ、電子オルガンなど鍵盤楽器の演奏経験のある方。

【個人レッスン】月2回/1回40分(9時～22時の間)*水曜日(変更になる場合があります。)

【定 員】10名

【講 師】ジャン＝フィリップ・メルカールト(ミューズホールオルガニスト)

【受講料】年間95,000円

【選考方法】(書類審査)応募者多数の場合は、プロフィール審査を行います。

(実技審査)ピアノによる実技審査を平成24年3月11日(日)に行います。

(応募人数により、9時～19時の間で調整します。)

★課題曲:J.S.バッハ「2声のインヴェンション」全15曲より任意の1曲

上級クラス

【対 象】ミューズオルガンスクール(初級クラス)の修了生

【個人レッスン】月1回/1回45分(9時～22時の間)*水曜日(変更になる場合があります。)

*基本は1年間。最長で2年間まで受講できます。

【定 員】5名

【講 師】松居直美(オルガニスト/ミューズ・音楽アドバイザー)

【受講料】年間63,000円

【選考方法】(書類審査)応募者多数の場合は、プロフィール審査を行います。

(実技審査)アークホールにてオルガンによる実技審査を平成23年3月11日(日)

9～21時に行います。詳細については、募集要項をご確認ください。

【申込書宛先・問合せ先】

所沢市民文化センター ミューズ
オルガンスクール事務局
〒359-0042 所沢市並木1-9-1
Tel.04-2998-6500 Fax.04-2998-6566

【申込期限】

平成24年1月31日(火) 必着



ミューズ アークホールの パイプオルガンを 私と一緒に弾いてみませんか?

所沢ミューズの「オルガンスク

ール」をご存知ですか?ピアノ

を弾ける方ならどなたでも応

募でき、私と一緒に初心者向

けのレッスンでオルガン演奏

を勉強することができます。レ

ッスンでは弾き方だけではなく、様

々な音色をどのように

組み合わせたら良いのかも学

んでいきます。上級クラスの

講師の松居直美さんと共に広

くヨーロッパのオルガンにつ

いて学ぶ「特別講座」もあり、弾くだけではなく、オルガ

ン音楽の歴史やオルガンの構造についても知識を深め

ることができます。なにより、所沢ミューズのアークホ

ールのパイプオルガンという素晴らしい楽器を弾くこと

は、またとない貴重な時間となるでしょう。皆さまのご

応募をお待ちしております。



ミューズホールオルガニスト
ジャン＝フィリップ・メルカールト
Jean-Philippe Merckaert

ミューズパイプオルガンスクール生徒発表会

パイプオルガンスクール生による卒業演奏会。

1年間練習してきた成果を披露します。

2012年3月25日(日)

開場13時 開演13時15分 アークホール 入場無料(全席自由)



“お昼どき”パイプオルガン500円コンサート

両日とも料金/500円(当日ホール入口で支払い)



アークホール

2011年12月22日(木)

クリスマスに贈る聖なる響き

出演/オルガン:平中弓弦(デンマーク国教会オルガニスト)

曲目/[1回目]ジングルベル ほか

[2回目]リスト:アヴェ・マリア ほか



2012年2月11日(土・祝)

バレンタインに贈る愛のオルガン名曲

出演/オルガン:柳澤文子

曲目/オルガン名曲



1回目/開場10時30分 開演11時(終演11時40分頃)

《0歳から聴けるオルガンコンサート!!》

★小さなお子さまもご入場できます。3歳までは無料です!



赤ちゃん
スペースも
あります!



ベビーカー
置場も
整備!

2回目/開場14時 開演14時30分(終演15時30分頃)

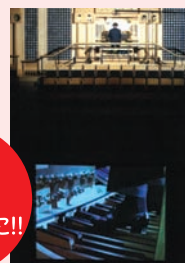
《屋下がりを楽しむオルガンコンサート!》

★2回目は、未就学児はご入場できません。

★演奏終了後も、ビュッフェではドリンクとお茶菓子を販売します。壮大なオルガン演奏のあとも、ロビーでゆっくりとした時間をお過ごしください。



手や足の
動きが
スクリーンに!!





MUSE Christmas Presents

アンフォゲッタブル・コンサートVol.9

今年で9回目となるアンフォゲッタブル・コンサートは、
毎回さまざまなゲストを迎え、国府弘子スペシャル・トリオとの
一夜限りのスペシャル・コラボが展開されます。
公演に先駆けて、国府弘子さんからメッセージが届きました。



(昨年の様子) ゲスト/夏川りみ・藤原道山

今年で9回を迎えるこのコンサートシリーズは、私にとって本当に特別なものです。まず、ピアニストとしてのやり甲斐。ハウスバンドである自慢のマイトリオとの信頼確認。そしてそこに迎える複数ゲストのキャスティングを含め、プロデューサーとしての経験。司会者としてのトーク修業(自称超一流!!)。これらを含め、構想の段階で選曲&構成を思案するのは、まさに「楽しい苦労」。毎回ステージの上でたくさんの幸せな出会いをさせていただいてきた事、まずは心から、感謝を申し上げたいと思います。

★

9年間でけっこうな人数のゲストをお迎えしてきたわけですが、ゲスト全員のお顔がすぐに親しみ深く浮かぶのがほんとにウレシイです。つまり、一夜限りのアンフォゲッタブルな(=忘れがたい)コンサートであると同時に、彼らとの出会いはその後長い友人関係としてつながっていくので、そういう意味では一夜限りじゃないんです。ひとりひとりのお名前を挙げるとキリがないですが、所沢のあとに今度は私がアチラのコンサートに招かれたり、自宅が近所と判明して音楽だけでなくプライベートな時間でも行き来ができたり。

★

お客様ともいろいろな思い出アリ。たしか初

回、コンサートが始まって最前列の席が二つ空いていて、数曲演奏した後に急いで入っていた。思わずステージの上から彼らに「あれっ今までの3曲がトリオの見せ場だったのに〜!」と文句を言って、会場爆笑。でも「あの方たちに恥ずかしい想いをさせて失礼だったかなあ」とあとからチョット反省してたんです…。しかし彼らはウィットに富んだご夫婦で、その後今まで全ての回に出席、しかも最前列キープ!すっかり連帯感できちゃいました(笑)。このお二人だけでなく、ミューズのホールはステージと客席との一体感がとても作りやすいのでいろいろなコミュニケーションの思い出がありますね。

★

今回のアンフォゲッタブル・コンサートですが、またまたとてもワクワクな内容です。お迎えするゲストは、満を持しての渡辺真知子さん。彼女はもう数年来のおつきあいですが、本当に太陽のような、愛に満ちたお人柄。シンガーとしての驚異の歌唱は、もう皆さんご存知ですね。私と真知子さんが出会うと真冬だろうがラテン音楽の要素がブンブンしてくるわけですが(笑)、そこにもうお一人のゲストでさらに南米度激増。「タンゴ」の真髄を!そう、タンゴといえばバンドネオン、その第一人者といえば、小松亮太さんです。この方

と出会えたのはこのコンサートのおかげで、私は今せつせと小松さんにタンゴの指南を受けております。タンゴを心から愛する真摯で熱い情熱はスゴイの一言。タンゴに一切の妥協は許さない彼、そして私もタンゴに興味しんしん。そんな熱い二人&私たちトリオとのコラボですから、外がどんなに寒い季節でも、ホールに一步入ればきっとホカロンいらすのホットな世界…どうぞお楽しみに!

★

こういう充実のコンサートシリーズ(ジャンルを超えて「本当の音楽、幸せなコラボレーション」をお客様と奏者が共有する機会)は、今後も、もっともっと、続けさせていただくべきではないかと謙虚かつホットに、心から思う次第であります。

(国府弘子/ピアニスト・作編曲家)

2011.12.17(土)
マーキーホール
開場 18時 開演 18時30分

MUSE Christmas Presents

アンフォゲッタブル・コンサートVol.9

出演/国府弘子スペシャル・トリオ

国府弘子(P)、八尋洋一(B)、岩瀬立飛(Dr)

〈ゲスト〉渡辺真知子(Vo)

小松亮太(バンドネオン)

料金/全席指定 5,000円

※公演に関する詳細は、インフォ・マート通信(P14)をご覧ください。

チケット
好評発売中!

大人のための
500円コンサート
〜爽やかな秋に聴くショパンの抒情〜

2011年10月23日(日)
好評のうちに終了!



10月23日にご出演いただいたピアニスト齊藤香織さんよりメッセージが届きました!

とても緊張しましたが、たくさんのお客様が聴きに来てくださり、温かい声援に感動しました。雰囲気も音の響きも素晴らしいホールで演奏できて感謝の気持ちでいっぱいです。地元の皆さまのお顔が見えた時には、感動で涙が出てしまいました。またミューズで演奏できる日を楽しみに、一生懸命勉強していきたいと思います。

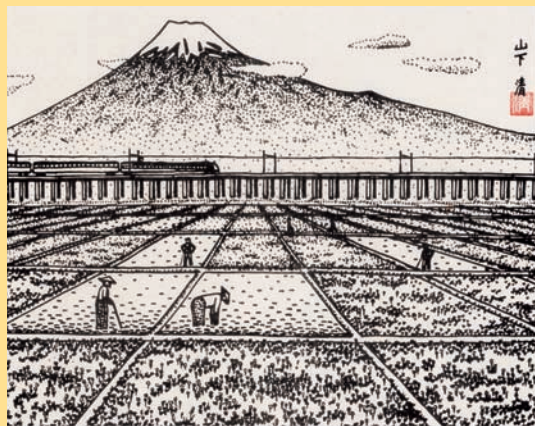
心の風景

山下清

最後の大作 「東海道五十三次」展

2012年、生誕90周年を迎える放浪の天才画家・山下清。

今回は遺作となった「東海道五十三次」の版画55点とペン画などを紹介します。



「富士(吉原)」版画



「熱田神宮(名古屋)」版画

ボランティアスタッフ
募集します！

詳細は、月刊情報紙ミューズ、
ホームページをご覧ください。

山下清 略歴

- 1922年(大正11)3月10日、東京市浅草区田中町に生まれる。
- 1925年(大正14)3歳 重い消化不良にかかり高熱にうなされる日々が続いた。それから軽い言語障害となる。
- 1934年(昭和9)12歳／千葉県の養護施設「八幡学園」に入園。学園での「ちぎり絵」が清の画才を発揮させ、彼独自の技法による貼絵となる。
- 1940年(昭和15)18歳／11月18日、突然、清は八幡学園から姿を消し放浪の旅に出た。自由を求めた清は、幾つかの職業を転々としながら千葉県各地、そして日本全国へと放浪の旅を続けた。時折、母の家や八幡学園に戻り、脳裏に焼き付いた旅先での風物を貼絵にした。放浪中はほとんど絵を描かなかった清だが、その間に彼の才能は損なわれることはなかった。
- 1953年(昭和28)31歳／アメリカの雑誌「ライフ」が清の作品を見て驚嘆し、放浪中の清を捜し始める。
- 1954年(昭和29)32歳／1月10日、鹿児島で清が発見される。弟・辰造が鹿児島まで清を迎えに行き、清の放浪生活は終わった。
- 1956年(昭和31)34歳／東京の百貨店で作品展が開催され、1ヶ月の入場者数が80万人を越す大反響であった。
- 1957年(昭和32)35歳／弟・辰造と世田谷に住み始める。以後、世界するまで弟家族と同居し続けた。
- 1964年(昭和39)42歳／清の生涯のライフワークとして、素描画と貼絵による「東海道五十三次」の制作を始めた。
- 1969年(昭和44)47歳／「東海道五十三次」の取材を終えた清は高血圧による眼底出血を起こす。以後、自宅での療養生活を続けた。
- 1971年(昭和46)49歳／7月10日の夜、突然の脳出血で倒れる。発作後意識が戻らず、7月12日朝に永眠。清の最後の言葉は「今年の花火見物はどこに行こうかな」であった。享年49歳。

2012.3.17(土)～31(土)

10時～18時(入場は17時30分まで)

ザ・スクエア

入場料／500円(中学生以下無料)

※会期中の休館日はございません。

※前売りチケットはございません。

※入場料は当日会場入口でお支払いください。

協力:山下清作品管理事務局

企画協力:ステップ・イースト

山下清作品管理事務局代表
(山下清氏の甥)

山下浩氏による
ギャラリートーク開催
2012.3.20(火・祝)

会場を巡りながら、作品の
見どころなどを解説！

開催時間／14時から

参加費／入場料が必要となります。

※予約の必要はございません。



山下清 遺作「東海道五十三次」展 開催に寄せて

大正に生まれ、戦前・戦後、そして昭和の高度経済成長期という慌ただしい時代を一気に駆け抜け、49歳で人生の幕を引いた山下清。本能の赴くままに放浪をした清が「旅」に求めたものは、画家として絵を描くためではなく、単に美しい情景を見ることでした。そして、その邪念の無い旅こそが純粋な作品を生み、結果的に私たち日本人が求める懐かしい情景と重なったのではないのでしょうか。遺作となった「東海道五十三次」は、晩年ライフワークとして取り組み、最終的には貼絵として完成させる予定でした。しかし、すべての取材を終え、素描の制作をしていたある日、高血圧による眼底出血により制作を断念。ちょうど「熱田神宮」を仕上げたばかりでした。そして清は、2年後の昭和46年7月12日、永遠の一人旅へと旅立って行ったのです。死後、家族でアトリエの整理をしていたところ、押し入れから、京都までの残り13枚が発見されました。きつと療養中も、こっそり続きを描いていたのでしょうか。こうして、山下清の「東海道五十三次」は、貼絵にこそなりませんでした。最後の大作として完成したのです。展覧会をご覧になる皆様には、作品に添えられた清自身の語録を読みながら、清の視点で描かれた「東海道五十三次」を、清と一緒に旅していただければ幸いです。

山下清作品管理事務局 代表 山下浩

©清美社

The Museum of info mart

インフォ・マート美術館 ④ 表紙を飾ったアーティスト・一ノ瀬智恵子

Chieko Ichinose

1981年多摩美術大学日本画科卒業。在学中は加山又造氏に師事。日本美術家連盟会員

○主なグループ展

1995年、1997年／デュッセルドルフ大美術展、2004年／SJPスウェーデン芸術交流展－LOVE－、1999年、2000年／国際現代美術展－HADOU(光州－神奈川)、2000年／芸術の胎動所沢市民文化センター(ミューズ ザ・スクエア)、2006年／チェジュ国際アートフェア、2010年／大田国際美術展 山脇他

○主な個展

OAGドイツ文化センター、日仏会館エントランスホール、かわさきIBM市民文化ギャラリー、北方文化博物館、他数多く出品。

2012年4月にOAGドイツ文化センターのエントランスホールで個展を開催予定。

表紙 The Magic Box1

335(h)×243(w)mm 2009年制作

The Magic Box2
335(h)×243(w)mm
2009年制作



MUSE MEMBERS CLUB

ミュージズメンバーズ倶楽部 新規入会キャンペーン実施中!!



檜本大進&リフシツ デュオ・リサイタルを メンバーズ特別価格でご案内!

2012年3月4日(日)
開演15時 アークホール
MUSE カフェ=コンセール
檜本大進[ヴァイオリン]&
コンスタンチン・リフシツ[ピアノ]
曲目/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第2・6・7・8番
料金/S席5,000円 A席4,000円

↓
**メンバーズ特別価格
全席指定
3,000円**

最大で
**2,000円
OFF**



この機会にぜひ、ご入会ください!!

会員特典

① チケット割引販売

ミュージズが主催する指定の公演のチケットを10%割引!!(一部公演を除く)



② 優先予約

ミュージズが主催する指定の公演のチケットを一般発売日に先がけて優先的にご予約・ご購入!(一部公演を除く)



③ チケット郵送サービス

ご予約いただいたチケットを無料でご自宅へ郵送!



④ インフォメーション・サービス

ミュージズのイベント・チケット情報をご自宅にお届け!



⑤ メンバーズご優待 &ご招待イベントの開催

楽しいイベントの開催や、展示会へのご招待など。



⑥ レストラン &カフェの割引

「ミュージズレストラン馬車道」、
「ミュージズカフェ馬車道」でのご飲食が10%割引!



⑦ その他特典もいろいろ!

ミュージズオリジナルグッズを10%割引など。



年会費/2,000円

※初年度の会費につきましては、入会月により別表のとおりとなります。
※年会費のお支払いは、ご指定の金融機関口座から自動振替となります。

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
年会費	2,000円	1,500円	1,000円	500円

●お問い合わせ

ミュージズメンバーズ倶楽部事務局
TEL.04-2998-6177

受付時間
9時~18時
(休館日を除く)

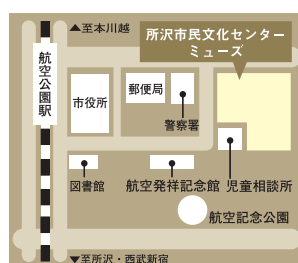
MUSE

TOKOROZAWA



財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-9-1
TEL.04-2998-6500

<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>



航空公園駅東口より徒歩約10分・バス約3分